



* 学校記入欄

(記入例1)

在留が1ヶ国の場合の留意点

・在留期間、国名を下段に記入

(西暦) 2025 年 11 月 15 日

海外在留証明書 (2026 年度入試用)

立教女学院中学校校長 殿

(機関所在地)

(機関名)

[本記入例での記載省略]

(責任者役職および氏名)

(印鑑または署名)

公印

志願者 杉並 花子 は、下記のとおり保護者の海外赴任に伴い
海外に在留したことを証明します。

記

■ 在留期間

1. 志願者氏名: 杉並 花子

※直近在留地を下段にご記入ください。

	開始 (西暦)	終了 (西暦)	海外在留地 (国名)
	年 月 日	年 月 日	[]
志願者	2021 年 9 月 2 日	2025 年 3 月 31 日 在留中[年 月 日 帰国予定]	[シンガポール]

2. 保護者氏名:

	開始 (西暦)	終了 (西暦)	海外在留地 (国名)
	年 月 日	年 月 日	[]
保護者	2021 年 8 月 25 日	2025 年 3 月 31 日 在留中[年 月 日 帰国予定]	[シンガポール]

※必ず保護者の所属する会社 (機関) の証明を受けてください。

※海外在留証明書は、本校所定のものを使用し原本をご提出ください。

※証明日時点で在留中の方は、入学後に改めて帰国日に関する確認を行っております。

保護者記入欄

3. 志願者と保護者の在留開始日または終了日が異なる場合、その理由をご記入ください。

父親が仕事の引継のため、母子より一週間程先に赴任しております。

以上



*学校記入欄

(記入例2)

在留が2ヶ国以上に渡る場合の留意点

- ・出願資格に係る在留国(連続している場合は全て)を記入
- ・直近在留地を下段に記入

(西暦) 2025 年 11 月 5 日

海外在留証明書(2026 年度入試用)

立教女学院中学校校長 殿

(機関所在地)

(機関名)

〔本記入例での記載省略〕

(責任者役職および氏名)

(印鑑または署名)

公印

志願者 立教 希美 は、下記のとおり保護者の海外赴任に伴い
海外に在留したことを証明します。

記

■在留期間

1. 志願者氏名: 立教 希美

※直近在留地を下段にご記入ください。

	開始 (西暦)	終了 (西暦)	海外在留地 (国名)
志願者	2022 年 12 月 27 日	2024 年 3 月 31 日	[アメリカ合衆国]
	2024 年 4 月 1 日	年 月 日	[オーストラリア]
		在留中[2026 年 3 月 31 日 帰国予定]	

2. 保護者氏名:

	開始 (西暦)	終了 (西暦)	海外在留地 (国名)
保護者	2022 年 12 月 1 日	2024 年 3 月 31 日	[アメリカ合衆国]
	2024 年 4 月 1 日	年 月 日	[オーストラリア]
		在留中[2026 年 7 月 31 日 帰国予定]	

※必ず保護者の所属する会社(機関)の証明を受けてください。

※海外在留証明書は、本校所定のものを使用し原本をご提出ください。

※証明日時点で在留中の方は、入学後に改めて帰国日に関する確認を行っております。

保護者記入欄

3. 志願者と保護者の在留開始日または終了日が異なる場合、その理由をご記入ください。

アメリカ合衆国: 環境が整うまで父親単身赴任
オーストラリア: 子の進学に伴い母子が先に帰国

以上